



平成29年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社シマノ
代 表 者 名 代表取締役社長 島野容三
(コード番号:7309 東証第一部)
問 合 せ 先 経理部長 廣瀬充康
(TEL 072-223-3254)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成28年12月期(平成28年1月1日～平成28年12月31日)の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 平成28年12月期 通期個別業績と前期実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績(A) 平成27年12月期	292,477	30,024	34,522	23,813
当期実績(B) 平成28年12月期	181,215	26,849	31,216	22,224
増減額(B-A)	-111,261	-3,174	-3,306	-1,589
増減率(%)	-38.0%	-10.6%	-9.6%	-6.7%

2. 差異の理由

①従来、当社は自転車部品の海外取引の一部について、売上高及び、売上原価を総額で計上しておりましたが、当事業年度より売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更いたしました。

これは、当事業年度より、海外取引の一部において当社が海外工場から製品を仕入れ、海外得意先に販売、資金回収を行っていた同取引契約を見直し、海外工場が直接海外得意先への製品販売、資金回収を行う契約に変更したためです。

これに伴い、当社が担う機能を見直した結果、取引仲介機能となったため、純額で売上計上する方法によっております。

この変更により従来の計算方法によった場合に比べ、当事業年度の売上高及び売上原価はそれぞれ68,330百万円減少しておりますが、売上総利益、営業利益、経常利益、及び税引前当期純利益に与える影響はありません。

②自転車部品事業の主要市場である欧州市場において春先の悪天候により完成車の店頭販売にブレーキがかかったこと、また北米市場ならびに中国市場において高いレベルで市場在庫が推移したことにより、完成車メーカーから当社への受注が減少したことが減収減益の主たる要因であります。

以 上